

研究課題：膀胱尿管逆流症と腎瘢痕形成に関する診療録を用いた後方視的研究

1. 研究の目的

小児尿路感染症の原因のひとつである膀胱尿管逆流症についてカルテを用いて解析することで新しい危険因子をみつけたり、尿路感染へのなりやすさを調べたりします。

2. 研究の方法

2019年1月から2023年9月までに膀胱尿管逆流症と診断された（尿路感染症で受診された）患者様が対象となります。

診療録から、性別・年齢・検査手術の時期・併存疾患の有無・逆流の程度・腎内逆流の有無・後部尿道弁の有無・腎瘢痕の有無・手術内容・予後の情報を調べてまとめます。

3. 研究期間

2024年1月(倫理委員会で承認を得られた日)から2026年1月までです。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

尿路造影検査、核医学検査と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：泌尿器科 医長 吉澤 信輔

研究分担者：泌尿器科 科長 大橋 研介

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲

内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024年7
月1日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が
生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）